

Cat® 311F L 汎用小旋回機 コンセプト



尿素不要の
環境技術対応



快適・安全な
作業空間



優れた
作業性能



高い
生産能力



生産能力の継承、省エネの実現

尿素不要の環境技術対応を実現

環境対応

- 排出ガスクリーン化技術により尿素水を必要としません
尿素水【補給・購入コスト・保管】の手間を等省くことが出来ます
- エンジンを実績あるC3.4B ディーゼルエンジンを搭載
シンプルなエンジンでメンテナンスも非常に
容易になっています
- メンテナンスフリーのDPFフィルターを採用し
2014年特定特殊自動車排出ガス規制適合し
ており高い環境性能をクリアしています
- NO_xリダクションシステム (NRS)を採用しました
排気温度を冷却し燃焼温度を低下させてNO_xの排出量を低減
させます



C3.4B ディーゼルエンジン

省エネを高いレベルで飛躍的に実現

- 燃料消費量を前モデル311DRRから約20%カットを実現
しています。同時に標準バケット容量を前モデルから大型化
することにより高い燃料生産性を確保しております

ECOモード採用

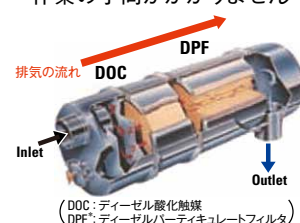
- パワーモードとECOモード 2種類の稼働モードを設定
ECOモードでの作業では更に省エネを実現します

オートアイドルストップ・オートデセル機能

- 一定時間、アイドルが続くと自動的にエンジン停止
省エネやCO₂削減に大きく貢献します
- 操作レバー中立時に自動的にエンジン回転数が下がり
騒音、排ガス対策を抑えると同時に省エネに役立ちます

DPF

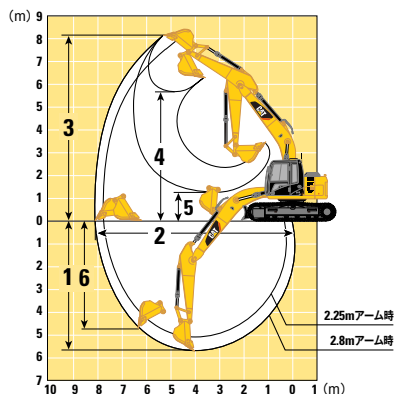
- 尿素水が不要となり、コストがかかりません
- 自動高温煤除去装置が装着されているためDPFに手動での煤除去
作業の手間がかかりません



(DOC: ディーゼル酸化触媒
DPF: ディーゼルパーティキュレートフィルタ)



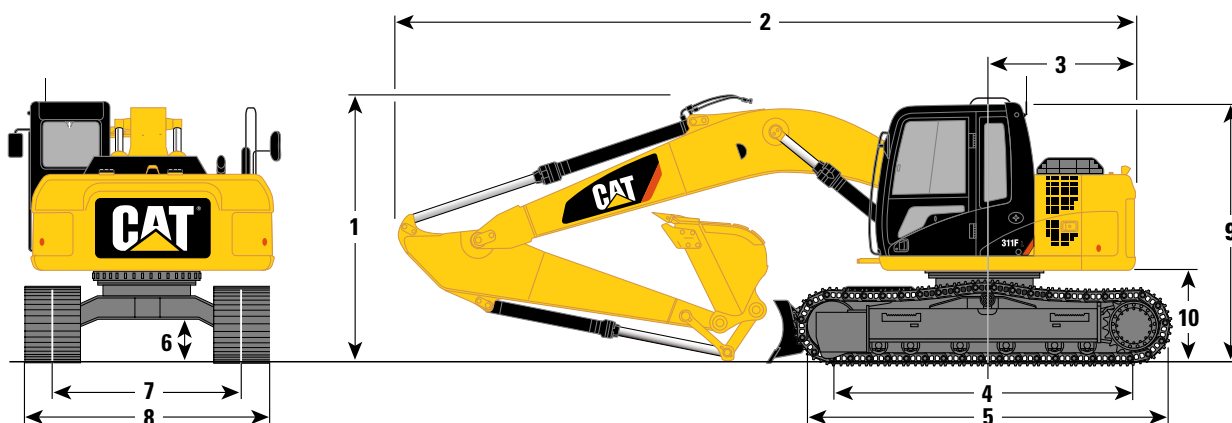
作業範囲



		標準仕様・解体仕様 ショベルクレーン仕様・ブレード仕様		ロングアーム仕様	
		標準/強化ブーム 4.3m		標準ブーム 4.3m	
		標準/強化アーム 2.25m		ロングアーム 2.8m	
1	最大掘削深さ	(mm)	5,040		5,590
2	最大床面掘削半径	(mm)	7,700		8,100
3	最大掘削高さ	(mm)	7,800		8,140
4	最大ダンプ高さ	(mm)	5,440		5,770
5	最小ダンプ高さ	(mm)	1,880		1,330
6	最大垂直掘削深さ	(mm)	4,510		4,880

※すべての寸法・作業範囲は概算であり、バケット・仕様等の選択により変わります

寸法



		標準/強化ブーム 4.3m	標準ブーム 4.3m
		標準/強化アーム 2.25m	ロングアーム 2.8m
1	車両高さ (バケット装着時)	(mm)	2,860
2	車両長さ (バケット装着時)	(mm)	7,530
3	後端旋回半径	(mm)	1,750
4	タンブラ中心距離	(mm)	2,780
5	トラック全長	(mm)	3,490
6	最低地上高	(mm)	440

		標準/強化ブーム 4.3m	標準ブーム 4.3m
		標準/強化アーム 2.25m	ロングアーム 2.8m
7	履帯中心距離	(mm)	1,990
8	全幅 (トラック全幅)	500mmシュー (mm)	2,490
		600mmシュー (mm)	2,590
		800mmシュー (mm)	2,690
9	キャブ高さ	(mm)	2,760
10	カウンタウエイト下端高さ	(mm)	960

仕様値

	標準仕様
運転質量	(kg) 12,000
バケット (標準設定・幅/ツース)	(m) 0.52 (900mm/J250)
メインシステム最大流量	(ℓ/min) 250
最大圧力《装置》	(kPa) 30,500
最大圧力《走行時》	(kPa) 35,000
最大圧力《旋回時》	(kPa) 23,000
エンジン	C3.4B ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列

	標準仕様
内径	(mm) 99
行程	(mm) 110
定格出力	(kW) 52
排ガス規制適合技術	DPF
燃料タンク容量	(ℓ) 210
冷却水	(ℓ) 18
エンジンオイル交換容量	(ℓ) 8
作動油 (全容量)	(ℓ) 160
作動油タンク容量	(ℓ) 95

日本キャタピラー合同会社

(カタログお問合せ先)
〒164-0012
東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー
TEL. 03-5334-5658
FAX. 03-5334-5660
(HPアドレス) <http://www.nipponcat.co.jp>



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください
故障や事故などを防止するため、定期点検を必ず行ってください

お問い合わせ先